

リサイクルデザイン

RECYCLE DESIGN

2012
No.214

7

横浜型地域貢献企業
最上位認定取得

特集＊親子で楽しむ工場見学



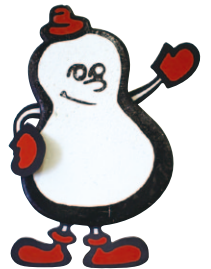
親子で楽しむ工場見学

数年前から大人の社会見学は、静かなブームになっています。
中でも工場見学はファミリーで楽しむために人気が高いようです。
そこで今回は、横浜市内にある企業が実施している
人気の工場見学ツアーをご紹介します。



崎陽軒

横浜工場



誰もが食べたことのある
あの「シウマイ」ができるまで

崎陽軒は1908年に横浜で創業しました。有名な「シウマイ」が誕生したのは1928年。初代社長の野並茂吉氏が横浜の名物にしようと考案したものでした。材料は、豚肉、玉ねぎ、干帆立貝柱、グリーンピース、砂糖、塩、こしょう、でんぷんの8つ。誕生以来、ずっとレシピは変わっていないそうです。

工場見学ツアーは、そんな崎陽軒の歴史のビデオ紹介からスタートします。ここで崎陽軒の「シウマイ」が冷めてもおいしい理由やヒット商品となったぎっかけもわかります。

次の展示コーナーにはシウマイ娘（女性販売員）の制服や駅弁の掛け紙（包装紙）、ノベルティなどが並んでいます。圧巻なのが「ひょうちゃん（しょう油入れ）のコレクション」。昭和30年に作られた初代の絵は、漫画家の横山隆一氏が描いています。昭和63年に2代目ひょうちゃんとなり、現在は3代目だそうです。

展示コーナーを出ると、いよいよ製造工程の見学です。「シウマ

そのほかの工場見学できる市内の企業

日産自動車 横浜工場

工場ではエンジンやサスペンションの部品を生産。見学は、エンジンの生産ラインを見るだけでなく、「体験コーナー」で、実際のエンジン組み立てを体験することもできます。

☎ 神奈川県横浜市神奈川区宝町2 ☎ 045-461-7090

🌐 <http://www.nissan.co.jp/INFO/FACTORY/YOKOHAMA/detail.html>

【見学】毎週月～金曜の午前と午後の2回。所用時間約120分。要予約（3カ月前の同日から予約可能）。詳しくはHPをご確認ください。

ダスキン 横浜中央工場

洗濯機でモップを洗浄し、乾燥機にかけてから形を整え、検査して袋詰めする工程や、汚れと水の実験コーナーなどがあります。機械のすぐ近くで見学できるので、迫力満点です。

☎ 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3-8 ☎ 06-6821-5006

🌐 <http://www.duskin.co.jp/torikumi/factory/yokohama/index.html>

【見学】所用時間約90分。小学3～6年生対象。小学校のクラス単位、自治会、子ども会などの団体のみで、個人の参加は受け付けていません（催行人数：最小20名～最大40名）。詳しくはHPをご確認ください。

日清オイリオ 横浜磯子事業場

紹介ビデオ鑑賞後に、専用の大型バスに乗って、敷地内にある工場を見学。バスから降りて工場内に入り、食用油を充填する生産ラインを見たり、展示ホールの見学があります。

☎ 神奈川県横浜市磯子区新森町1 ☎ 045-757-5038

🌐 <http://www.nisshin-oil.co.jp/company/kojo/index.shtml>

【見学】毎週月～金曜の10時と13時30分の2回（祝日、工場休日を除く）。所要時間約90分。要予約（3カ月前から2週間前までに予約）。詳しくはHPをご確認ください。

横浜市資源循環局金沢工場

横浜市のごみ焼却の最新鋭工場です。ピットに集められたごみを大型クレーンで運ぶところや焼却炉をコントロールする中央管制室の様子を見ることが出来ます。

☎ 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-7-1 ☎ 045-784-9711

🌐 <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/kojo/kanazawak/03kengaku/>

【見学】所用時間約90分。要予約。業務の都合で見学できない日もあるので、必ず工場に電話で問い合わせてください。HPもご確認ください。

ISOGOエネルギープラザ&はまかぜ広場

どうして石炭で発電しているの？その答えはISOGOエネルギープラザにあります。精巧な発電機の模型などで、石炭火力発電の仕組みが分かります。

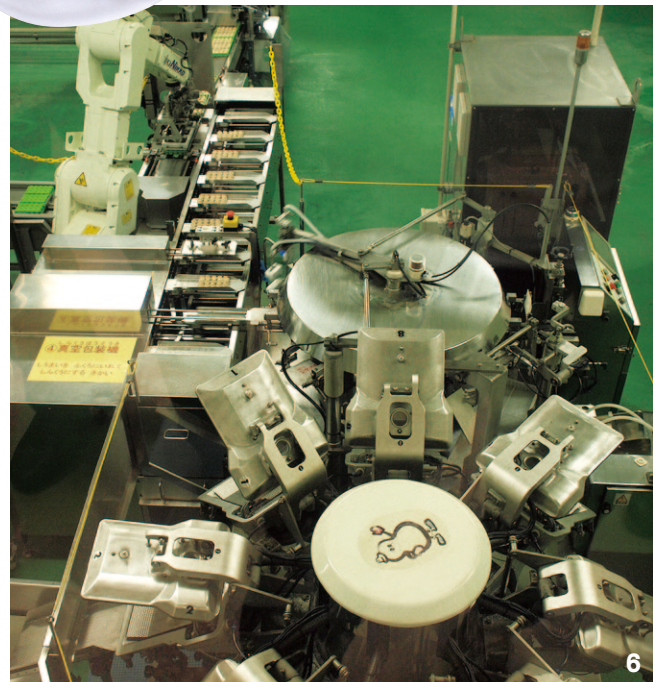
☎ 神奈川県横浜市磯子区新磯子町37-2（磯子火力発電所内） ☎ 045-750-0655

🌐 http://www.jpower.co.jp/isogo_ep/index.html

【見学】ISOGOエネルギープラザは、10時～16時30分（火曜、年末年始は休館）。はまかぜ広場は、9時～16時30分（年末年始は閉鎖）。予約不要。但し、発電所内見学をご希望の場合は事前予約が必要です。詳しくはHPをご確認ください。



1「シウマイ」の具を皮に包む成型機。2 蒸し上がると、自動的に箱詰めされる。3,4 昔の駅弁売りを再現した駅のセットでは、シウマイ娘の制服を着て記念写真が撮影できる。5 歴代のひょうちゃん（しょう油入れ）の展示。写真は2代目のコレクション。6 真空パックシウマイを詰める真空包装機。7 現在の崎陽軒のお弁当のラインナップも展示。8 工場の外には店舗があり、お弁当を買うことができる。



崎陽軒 横浜工場

☎ 神奈川県横浜市都筑区川向町675-1

☎ 045-472-5890

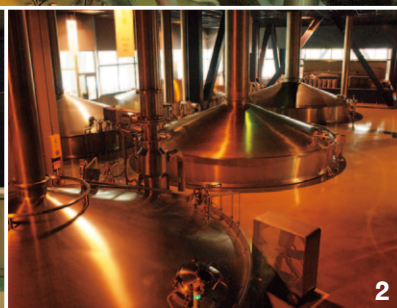
🌐 <http://www.kiyokan.com/factory/index.html>

【見学】毎週水・木・金・土曜の午前と午後の2回。所要時間約90分。要予約（3カ月前の月の1日から1週間前まで予約可能）。詳しくはHPをご確認ください。

「イ」の具を包む成型機は、1分間に420個作る能力があり、工場全体では1日80万個を製造するそうです。続いて、ラインに載った「シウマイ」が、そのまま蒸し器で蒸され、箱に詰められ、ひょうちゃんを入れてフタをして、きれいに包装される様子を順に見ることができます。そして最後はお楽しみの試食。できたての温かい「シウマイ」は、ここでしか味わえない格別なものです。

キリンビール

横浜工場



ビール工場で おいしいビールを楽しむ

数ある工場見学の中で、最も人氣が高い工場のひとつがビール工場。これからの暑い季節には、たまらない魅力があります。横浜は、1907年に創立されたキリンビールの創業の地。そんな由緒あるキリンビール横浜工場で、おいしいビールを堪能する見学ツアーは、一度は体験しておきたいものです。

工場に向かう通路を進むと、麦汁を煮る独特の香りがあたりを包みまします。これは、一番大きなもので直径12メートルもある巨大な仕込釜で麦汁を糖化させ、ビールの素を作っている香りなのだそうです。ビール造りの工程は、仕込みの次に発酵に進みます。高さ20メートルもある屋外タンクで発酵・貯蔵し、1〜2カ月ほど熟成させて濾過するとビールとなります。

感動的なのが、ビンや缶にビールを充填する工程です。1分間に2000本もの缶ビールを充填する機械は、目を凝らしても速すぎて動

キリンビール 横浜工場

〒横浜市鶴見区生麦1-17-1
☎ 045-503-8250
🌐 <http://www.kirin.co.jp/bvyokohama>

【見学】月曜休館(月曜祝日の場合は翌平日)。所要時間約70分。要予約(3カ月前の月の1日から予約可能)。詳しくはHPをご確認ください。



きを追うことができません。缶に印字して洗い、ビールを充填し、フタをする一連の作業は自動で行われ、まさに工場らしい風景です。

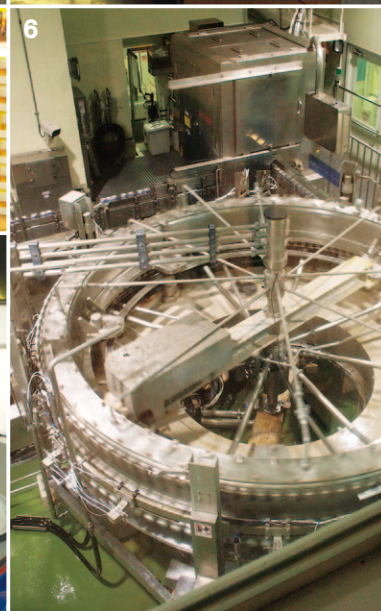
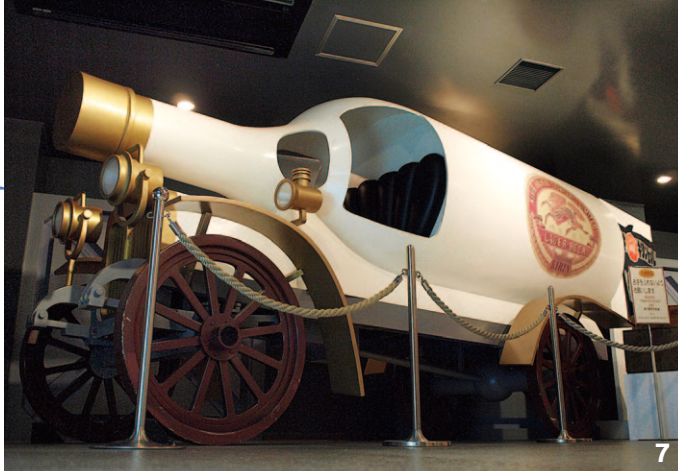
見学の最後はできたてビールの試飲。冷えたおいしいビールが3杯まで堪能できます。ここで、自分でもできるおいしいビールの注ぎ方「3度注ぎ」をレクチャーしてもらえます。また、試飲会場には、お土産ショップもあり、ここでしか購入できないおつまみなどもたくさん揃っています。



キリンビール横浜工場見学の オプションルツアー

- エコブルフリーツアー**：工場環境担当者が環境の取り組みを紹介します。
- ファミリーツアー**：カード探しやクイズに挑戦しながら工場見学をする楽しいツアーです。
- ビールの達人クイズツアー**：ビール博士を目指して、クイズにチャレンジするツアーです。
- もっと知りたいビールツアー**：100分間もビールを楽しめる、ビール好きにはたまらないツアー。
- 歴史ツアー**：5000年前のビールの起源からキリンビールの歴史までをたどります。
- こどもエコブルフリーツアー**：リデュース、リユース、リサイクルについて学べるツアーです。

1 林のように立ち並ぶ発酵したビールを濾過するタンク。2 直径12mと7mの巨大な仕込釜。3 高さ20mもある発酵・貯蔵タンクは外に設置されているため、解説パネルで紹介。4 ビールづくりで重要な材料のホップ。実際に手に取ることができる。5 ドイツ製ビアジョッキのコレクション。100万円以上するものもある。6 1分間に2,000本の缶にビールを充填するフィラーという機械。7 歴史展示室にある明治42年の宣伝カー。8 試飲会場内にある売店。大人気のお土産は工場限定ブリッツ。9,10 試飲会場では、缶ビールのおいしい注ぎ方を教えてくれる。うまく注げると泡が盛り上がる。



- 見学日**：8月4日(土) ●**見学時間**：10:15~11:45(90分)
- 定員**：40名(申込先着順) ●**対象**：小学生以上(小学生のみの参加は不可)
- 締切日**：7月27日(金) ●**連絡先**：045-444-2531
- 申込方法**：申込締切日までの9時から17時の間にお電話をお願いします。
- ホームページ**：<http://www.recycledesign.or.jp/rpy/saturday/>

【ご注意】●先着順に定員となり次第終了となります。●申込時にご住所、電話番号、見学者全員のお名前(複数人の場合)が必要です。●見学申込された方には別途案内状を送付します。●危険ですのでサンダル履きでの見学はお断りいたします。●車での来場はご遠慮ください。

古紙のリサイクル工場で 迫力のプレス機を見学

本誌を発行している横浜市資源リサイクル事業協同組合では、古紙のリサイクル工場「リサイクルポート山ノ内」を運営しており、工場見学会も随時実施しています。

通常は、平日に10名以上の団体による見学会となっておりますが、今年も夏休みの特別企画として、親子(少

人数)で見学できる「サタデー見学会」を開催いたします。

見学内容は、古紙選別作業や古紙を圧縮梱包するジャンボプレス機、古紙・古布の輸出作業などの見学に加えて、リサイクル講座もあります。古紙を積んだトラックごと重さを量る計量器なども見所のひとつです。

夏休みの自由研究に活用したいお子様のいるご家族や平日ではなかなか参加できない方にお勧めです。

リサイクルポート山ノ内

あっとほーむな子育てしましよ！

「夏休みには共感を養う」

梅雨が終われば、気分もすっきり、楽しい夏が待っています。しかし、小さい子どもを持つママにとっては、楽しいばかりの夏とは言えません。幼稚園や学校が休みになり、毎日朝から家にいる子どものことを考えると、優雅なママ友ランチもしばらくおあずけです。

さて、そんな夏休みをどう過ごしたらよいでしょうか。実は、夏が子どもを成長させる絶好のチャンスなのです。自分の主張を通すだけでなく、みんなの気持ちを考えて行動する子ができるのは、小学校高学年からですが、それができるようになるためには、小学校低学年までに共感性を養うことが重要です。夏はこの共感性を養うのにピッタリな時期。それは、自然と触れ合う機会とママと過ごす時間が多いからです。

自然と触れ合うのに、大掛かりな

キャンプや野外活動をする必要はありません。例えば、ベランダで野菜を育てることもいいのです。ただし、学校から指定された観察日記をつけるだけではダメ。ママが子どもと一緒に野菜の芽が出たり花が咲いたことに感動することが重要です。

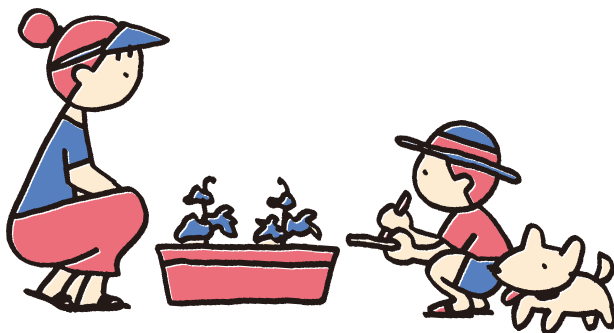
「芽が出てうれしいね」「虫に食べられちゃって悲しいね」など、その時何を感じたかを言葉にして会話する。そして、観察日記を読み返して、もう一度その時のことを一緒に思い出して話すことが、子どもの共感性を高めます。

人との関わりも同じです。夏休みにおじいちゃんやおばあちゃんに会う機会がある場合は、「おじいちゃんにこんなことをしたら喜んでくれるかな?」「おばあちゃん、あの時とつてもうれしそうだったね」など、ママがみんなの気持ちを代弁してあ

げるのです。子どもは、自分がそこにいることで喜びを感じてくれる人がいること、自分が何かすると人はこんな風に感じるということがだんだんと理解できるようになります。

誰かの気持ちを代弁するだけでなく、ママ自身の気持ちも伝えましょう。時々、親は子どもに感情を見せたいけないという人がいます。しかし、子どもが一番近くにいて親が、子どもがいることに幸せを感じたり、子どもの行動をこんな風に感じているということを伝えることは、共感性を高める一番の方法ではないでしょうか。今年の夏は、ぜひ共感性に注目して、夏休みの計画を立ててみてください。強い日差しにも子どものパワーにも負けずに、思いきりこの夏を楽しみましょう。

今回はママの美と健康についてお伝えします。



小栗ショウコ

NPO法人あっとほーむ代表理事。横浜市都筑区で学童保育所「あっとほーむ」を運営し、仕事に忙しいママたちの子育てを支援している。
www.npoathome.com





RD NEWS



今年も「環境絵日記」を大募集!

毎年、夏休みに横浜市内の子どもたちから募集している「環境絵日記」は、絵(視覚的)と文を組み合わせ、子供たちが環境問題やリサイクルに対して考えていることを自由に表現する絵日記です。平成12年から募集を開始し、昨年は1万8690作品もの応募がありました。13回目となる今年のテーマは「環境未来都市」です。「生活」、「エネルギー」、「乗り物」、「学校」など、あなたが思う「環境未来都市」について描いてください。

募集要項

資格: 横浜市の小学校に通う1~6年生、
自筆・未発表の作品

テーマ: わたしの『環境未来都市』

用紙: 環境絵日記専用の応募用紙

書き方: 絵は絵の具、色鉛筆、クレヨンなど何を使っても結構です。(文章と絵ははみ出さないように書いてください)

応募方法: 通ってる小学校へ提出。
締め切りは9月6日(木)まで

●**審査結果:** 10月28日(日)横浜大さん橋ホールにて開催される『リサイクルデザインフォーラム2012』の会場で優秀特別賞各賞の発表及び表彰をします。また、リサイクルデザイン賞(入賞作品)を会場内に展示します。

●**表彰:** ◆**環境絵日記大賞**(全作品から最も優れた作品1作品) ◆**個人の部:** 低学年の部(1~3年生)、高学年の部(4~6年生)より**優秀特別賞**を数点(協賛企業賞) ◆**リサイクルデザイン賞**(入賞作品): 全作品の中から500作品程度(予定) ◆**団体の部: 学校賞**(入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ1校ずつ)

●**問い合わせ:** 横浜市資源リサイクル事業協同組合「環境絵日記」係
TEL: 045-444-2531

●**HP:** <http://www.recycledesign.or.jp/>

●次号予告

8月号は
「環境絵日記」の特集だよ!



月刊リサイクルデザイン

2012年7月号 通巻214号 2012年6月25日発行

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
TEL: 045(444)2531 / FAX: 045(444)2532
<http://www.recycledesign.or.jp>

発行人: 高田哲二 編集人: 藤本達也 印刷: 大日本印刷株式会社
発行部数: 89,800部

本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしいNonVOCインキ、油性インキ「SOYA-eシリーズ」を使用しています。

VOC
FREE

お中元に最適! リくみちゃんセット

リくみちゃんセットは、リくみのトレペ4パック、リくみのティッシュ3パック、小結くんおためし巻1巻(30m)の詰め合わせ。お中元用には、熨斗紙をお付けしてお届けいたします。

1セット 2,880円

(5セット以上のご注文には割引引きあり)

●お問い合わせ・ご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中

TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp



トラック1台の段ボール回収から始めて
紙のリサイクル事業一筋に35年
常に挑戦を忘れず、日々努力を重ねている



Recycle Designer Profile

YOSHINORI YAMADA 4

株式会社山愛代表取締役社長。事業は製紙原料問屋と古紙回収。スーパーやデパートの古紙回収、子ども会・自治会の集団回収のほかに、一般廃棄物処理、産業廃棄物処理も手がける。横浜市資源リサイクル事業協同組合 北支部長